

# 早稲田バレー発祥の地

## 早稲田奉仕園に記念碑が完成

**明**治40年(1907年)、キリスト教伝導のため来日した、米宣教師ベニンホフは、大正10年(1921年)、大隈重信総長の協力を得て、現在の地に、教会堂と学生寄宿舍「友愛学舎」を設立した。

そして、学生施設としての奉仕園を運営し、キリスト教精神に基づく3L精神(Loyalty、Love、Liverty)を伝えた。スポーツにも力を入れ、テニス、バスケットボール等の施設も整い活動を行っていた。

早稲田大学バレーボール部は、昭和6年(1931年)早稲田奉仕園排球部と呼称する任意団体としてスタートし、昭和9年(1934年)体育会公認の排球部となった。昭和14年(1939年)大隈庭園西側に専用コートが出来るまで、奉仕園をホームコートとして練習に励んだ。

この碑は、創部70周年記念の年に合わせて、谷口清(昭和15年卒)からの設立の申し出と、杉山信(昭和26年卒)の尽力により、平成13年7月完成した。

財団法人 早稲田奉仕園

東京都新宿区西早稲田 2-3-1 03(3205)5401

記念碑

(早稲田奉仕園内)

略 図



# 愛唱歌「古い顔」

**私**たちの愛唱歌「古い顔」は、昭和17年、東北帝大生の松島道也が、チャールス・ラムの原詩を西條八十が訳した「古い顔」に曲をつけたものです。

高まりゆく戦意の裏側で、戦場に奪われ、亡くなっていく友への挽歌として、仙台を中心に、学生や若者の間で、次第に人気を集めていきました。

戦後、若きバレーボーラーの間でも、広く愛唱歌として歌われるようになり、早稲田のバレー部でも、合宿や先輩との集いの場で、部歌のように歌われるようになりました。

私たちの永遠のライバル、慶応大学のバレー部創立50周年記念誌(1981年発行)にも掲載されております。

1 . 幼い頃に 遊んでた  
学生時代に つきあった  
いろんな友が いたけれど  
みんなみんな 今はない  
ああなつかしい 古い顔

2 . 夜遅くまで 座り込み  
笑って飲んだ ものだった  
あの仲良しの 飲み仲間  
みんなみんな 今はない  
ああなつかしい 古い顔

3 . 恋もしたっけ 素晴らしい  
美人だった あのひとは  
今じゃ会えない 人の妻  
みんなみんな 今はない  
ああなつかしい 古い顔

こころ知った 友達は  
兄弟よりも なつかしい  
おなじ家になぜ君は  
生まれて 来てはくれなんだ

4 . そうすりゃ今でも そばにいて  
亡くなった友 去った友  
いろんな事を 語ろうに  
みんなみんな 今はない  
ああなつかしい 古い顔